

普  
唱  
歌  
集  
全

三九七二号









普通唱歌集

緒言

音樂ハ人性ノ自然ニ基キ其心情  
 ヲ感動激觸スルモノニシテ正雅  
 ノ曲ヲ唱ハシムルトキハ心自ラ  
 正シク和樂ノ音ヲ聞クトキハ心  
 自ラ和ラク等一モ心情ノ感動ヲ  
 生セサルモノナシ故ニ唱歌ハ普  
 通學科ノ最モ缺クヘカラサルモ  
 ノナリ是ニ於テ余ハ兒童ノ唱ヒ  
 易キ活潑善良ナル唱歌數種ヲ撰

擇シ試ニ家僮ニ授クルニ較整理  
シタルヲ以テ上梓シテ世ニ公ニ  
ス教育ニ從事セラル、諸彦幸ニ  
訂正ノ勞ヲ吝ル勿レト云爾

明治二十年十一月

編者識

普通唱歌集目次

第一 四季此曲

第二 おく屋とよまき

第三 玉のまゆ

第四 あくろきしる

第五 春此やよひ

第六 君の代

第七 ちやとぬへき

第八 湯

第九 門

第十 心をたけく

第十一 友たをきこむれ

第十二 風車

第十三 冬の〜

第十四 時代乃民衆

第十五 年〜ま〜る

第十六 雪屋よ〜

第十七 猶子

普通唱歌集目次終

普通唱歌集

佐藤維親 編輯

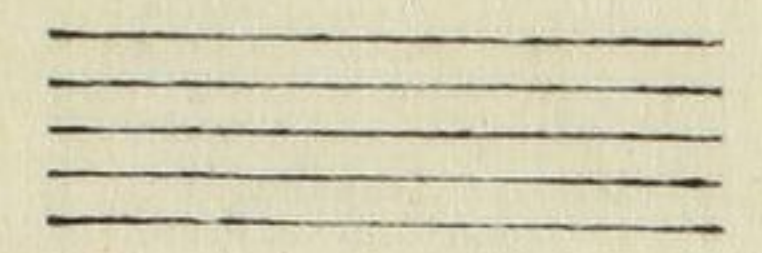
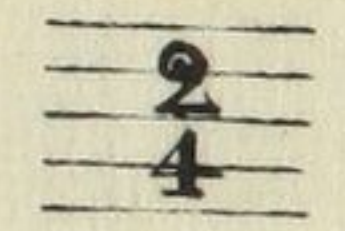
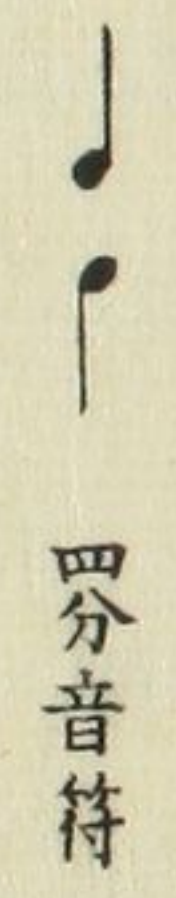


表 譜



四分二拍子



四分音符



二分音符



調 (ト)



高音部記号  
(ト) 字記号



音階

東洋音樂

師 生 師 生 師 生 師

生 師 生 師 生

師 生 師 生

師 生 師 生

木 6 木

習 練 階 音

(一) 1, 2 - 2, 1 - (二) 1, 2, 3 - 3, 2, 1 - (三) 1, 2, 3, 4 - 4, 3, 2, 1 -

(四) 1, 2, 3, 4, 5 - 5, 4, 3, 2, 1 - (五) 1, 2, 3, 4, 5, 6 - 6, 5, 4, 3, 2, 1 -

東洋音樂

第一 四季代曲

一 梅をみどりて。あつらひみらふ。  
 げろあらしろろ。春の眺也。  
 二 たちばなをば。何やえい白ふ。  
 げろなつしれ。夏のけしき也。  
 三 月夜をたり。秋のけしき也。  
 げろあまきさる。秋の夕也。  
 四 花をばむ。雪のけしき也。  
 げろすさる。冬のけしき也。

Musical score for 'Shiki no Uta' (四季代曲). The score is written in G major (one sharp) and 2/4 time. It consists of four staves of music. The lyrics are written below the notes.

リまろ	ドをむ	三のツギ	ハを三は	ギばえし	ナチミラ	ヤたツあ	シのツギ
ふるる	ホ不ヨ	二にかう	ハを三は	えめふ	クヤリキ	サあカゆ	シのツギ
のるの	ロしナじ	シのツギ	モつハキ	オをアキ	ニにニに	ケけケけ	のるの
ヤヤヤ	メをバジ	がしらの	ナけエひ	ののの	ルツギめ	ハをアふ	ののの

三



第二 遊あそばるとまままま

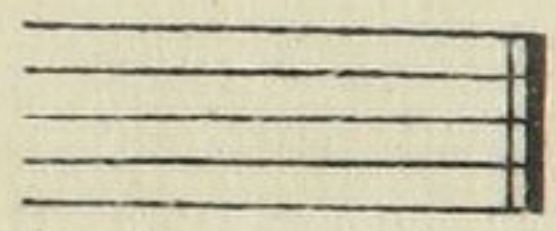
一 あそぶとままれ。はななまのままま。  
 何なにそぶぶももととままるるももららののままに。  
 ちちぎぎはは花はな乃のああほほくくるるははははん。  
 あそあそぶぶよよととままれれをを一一ののまままま。  
 二 ああががききれればばれれ大おあわだだここここだだここ。  
 何なにぐぐるるももののぼぼるるももんんののままままに。  
 そそううちちのの風かぜののみみちちららびびききののまままま。  
 ああががききよよののりりれれおおわわひひののまままま。



八分ノ四拍子



八分音符



曲ノ終リ

1. アソベト マレハズエノ テフテフ  
あがれの 不れお 不だニ こだこ

アソブモ トマルモ ココロノ ママニ  
あがるもの がるも こころの ままに

チガサノ ハナノ ニホヘル ニハニ  
そらふく あぜの みちびく のたに

アソベヨ トマレヲ シヘノ ママニ  
あがれよ の不れお もひの ままに

ホ  
ニ  
ハ  
ロ  
イ  
ト  
ヘ  
ホ  
ニ

音階 (二) 調

1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 1, 2,

(二) 調

二分音ノ附点

四分音休止符

四分ノ四拍子

反覆記号

第三 海のまはれ

一 國乃ま由の。毛はくまを。  
 忠なる心。みせおこし。  
 やしおのうみは。そとやまも。  
 むけきてふりち。かこいせ。  
 二 國はそるく乃。はるものも。  
 心なや。たわご。おひえて。  
 いむのよ。あだを。うちあびけ。  
 たいのい。なな。まよなな。

イ ク ニ ノ マ モ リ ノ モ ノ ノ フ ハ  
 ク ニ ノ ソ ナ ノ ツ ハ モ ノ ハ

チ ウ ナ ル コ コ ロ フ リ オ コ シ  
 イ サ マ シ キ ワ ガ ナ ラ ビ エ テ

ヤ シ マ ノ ウ ミ ノ ソ ト マ デ モ  
 イ ム カ フ ア ダ ラ ウ チ ナ ビ ケ

タ ケ キ テ ブ リ ヲ カ ガ ヤ カ セ  
 タ カ キ イ サ ラ ヲ ヲ ニ タ テ ヲ

3	赤
2	三
1	六
7	口
6	1
5	卜
4	八
3	亦
2	二
1	八

音階 (ハ) 調

1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 1̇, 2̇, 3̇,

連結記号

連合符

四分音、附点

二分音休止符

4/4 5, 5, 5, 5 | 6, 6, 5, 5 | 5, 1̇, 2̇, 7̇ | 1̇ - . 0, |

5, 5, 5, 5 | 6, 6, 5, 5 | 1̇, 1̇, 1̇, 6, | 5 - . 0, |

1̇, 1̇, 2̇, 2̇ | 1̇, 6, 5, 5 | 5, 1̇, 2̇, 3̇ | 2̇, 1̇, 6, 0, |

5, 5, 5, 5 | 6, 6, 5, 5 | 5, 1̇, 2̇, 7̇ | 1̇ - . 0, |

第四 あつきしうきは

一 何のつき志すまふがしあ。  
 志のつえゆるらふ。庭すぐえ。  
 ねぐらをはあも。こゑもろもに。  
 りのぐ明けけえ。よもれえ。  
 二 春はけうけなる。船白のげ。  
 敵はえろ本よ。いけえ。  
 みはきくたも。さやもるじも。  
 てらきぬほら。たうらえり。

4/4

ア カ ツ キ シ ラ ス ル ヤ マ カ ラ ス  
 と よ き の ー ぶ る あ ま き ひ ろ げ

シ ノ ノ メ ヨ ロ コ ブ ニ ハ ス ズ メ  
 わ が ひ の も と よ 里 ぎ し ろ め て

子 グ ラ ラ ハ ナ ル ル コ エ モ ロ ト モ ニ  
 み し は せ く だ ら も こ ま も ろ こ し っ

ホ ノ ホ ノ ア ケ ヌ ク ヨ モ ノ ソ ラ  
 て ら き ぬ く に こ そ 春 あ 里 け れ

第五 新れやよ

一 新れの屋のひら。明ぼのり。  
 ともは山を。みりたせむ。  
 花のついで。しらやめ。  
 かしらぬ。ちあけき。  
 二 けまの海を。夕まをれ。  
 又わをま。くも。揺めて。  
 花のあらぬか。しらやめ。  
 解らそおぼろ。にらなれ。  
 三 雲たちを。みり。乃は。  
 色すは。あま。は。き。  
 山。やまの。あま。が。  
 色もあま。ひら。の。を。

新 屋 明 ぼ の り  
 とも は 山 を み り た せ む  
 花 の つ い で し ら や め  
 か し ら ぬ ち あ け き  
 け ま の 海 を 夕 ま を れ  
 又 わ を ま く も む 揺 め て  
 花 の あ ら ぬ か し ら や め  
 解 ら そ お ぼ ろ に ら な れ  
 雲 たち を み り 乃 は  
 色 す は あ ま は き  
 山 や ま の あ ま が  
 色 も あ ま ひ ら の を

### 第六 志の代

一 志の代もふ代よハる代。  
 けまきス乃、  
 ナツけはむもままで。  
 二 志の代もちもろ乃底の。  
 けれはれ、  
 現ももままで。  
 三 志の代もふ代もまじ。  
 天のルヤ、  
 うまきば。

ニージ ヨのサ ナヒ ヤサ ナヒ トハハ ヨヨヨ かがが 三三三 キキキ ノ三三

のチヒノ リモキ ナハツ トルル ホイツ ハのイ イライ ノのヤ シシイ イト

のチヒノ のチヒノ ママレ ママレ スるケ 一 一 一 △るナ ノはり ケらギ コあカ

1. 子リヌベ キ トキヲヲシヘテ  
 2. きみうた め ちれそをし屋て  
 シバシヨ ニ ノコ— ス— ワカ  
 そのみま づ あら— しに び—  
 キノ サク ラ 井 ノ サ— — ト  
 のお きく ら の の や— — ぎ

第七 ちのぬい

一 ちのぬいをきこ。時をこしこ。  
 一 ちのぬいよん。ちのぬいよん。  
 二 きこむ。ちのぬい。ちのぬい。  
 そのみま。あしはむい。  
 ちのぬい。ちのぬい。



第八 温

一 見よ〜る<sup>こ</sup>枝<sup>こ</sup>う<sup>ら</sup>ま<sup>く</sup>あ<sup>ら</sup>を。  
 う<sup>は</sup>ま<sup>く</sup>〜み<sup>ら</sup>づ<sup>ま</sup>な<sup>ら</sup>ひ<sup>て</sup>め<sup>ぐ</sup>き。  
 み<sup>ま</sup>〜く<sup>さ</sup>ら<sup>も</sup>温<sup>ま</sup>ま<sup>あ</sup>ら<sup>を</sup>。  
 二 見よ〜る<sup>こ</sup>枝<sup>こ</sup>う<sup>ら</sup>ま<sup>く</sup>み<sup>ら</sup>を。  
 う<sup>は</sup>ま<sup>く</sup>〜あ<sup>ら</sup>の<sup>ま</sup>ま<sup>き</sup>て<sup>ど</sup>〜<sup>ら</sup>。  
 み<sup>ま</sup>〜く<sup>さ</sup>ら<sup>も</sup>う<sup>ら</sup>ま<sup>く</sup>み<sup>ら</sup>を。  
 三 見よ〜る<sup>こ</sup>枝<sup>こ</sup>う<sup>ら</sup>ま<sup>く</sup>あ<sup>ら</sup>を。  
 う<sup>は</sup>ま<sup>く</sup>〜み<sup>ら</sup>づ<sup>ま</sup>な<sup>ら</sup>ひ<sup>て</sup>め<sup>ぐ</sup>き。  
 知<sup>め</sup>よ<sup>ら</sup>る<sup>こ</sup>枝<sup>こ</sup>う<sup>ら</sup>ま<sup>く</sup>あ<sup>ら</sup>を。

# 第九 門もん

一 六むのちなる門もんも、後たれののもん。

通とほらばとほまき。いさめのもん。

二 とほれやとほまき。すけ門もん。

三 やらまきとちなるのもん。

四 おたまきうたすまきまき。字あないはま。

おまきますまきまき。とどまらま。

三 やらまきとちなるのもん。

四 おたまきうたすまきまき。字あないはま。

第九 4/4 1 3 2 2 / 3 - 2 3 / 4 3 2 1 / 2 - . 0 /

3 2 1 4 / 1 - 6 6 / 5 1 3 2 / 2 - 1 0 //

6	ホ
5	ニ
4	ハ
3	ロ
2	イ
1	ト
#	ハ
6	ホ
5	ニ
4	ハ
3	ロ

音階調 (ト)

ソソトタ コホの ナレレシ ルヤトキ モミナラ シ不ラた ハレバを タコトウ レコホた ガのラひ モもマツ ンんシフ

トわかち ホレへく ララレバ ババモズ トたユサ オてクサ レしそめ ココウミ ー ー ココナも ノのムミ モもレち ンんテよ

1	ハ
2	ホ
3	ニ
4	ハ
5	ハ
6	ロ
7	イ
8	ト
9	ハ
10	ホ
11	ニ
12	ハ

音階調

5, 6, 7, 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 1,

第十 4/4

1 3 2 1 | 7 6 5 - | 1 - 2 - | 3 1 1 0 |

1 3 2 1 | 7 6 5 - | 1 - 2 - | 3 1 1 0 |

7 3 2 2 | 2 3 4 - | 4 3 2 1 | 7 1 2 - |

2 3 2 1 | 7 6 5 - | 1 - 2 - | 3 1 1 0 ||

第十 心をたけく

一 ちろろはたけく。きいほよき。  
 うたがひなきて。とをまらふ。  
 てあくる事。にうごかぬ人を。  
 ますらをも。いふぞかし。  
 二 ちろろもほく。いさよしを。  
 おもきだす。いふぞかし。  
 であるてきた。おそれぬ人を。  
 ちろろもほく。いさよしを。

スコ コロ ハ タ ケ ち キ ハ ツ ヨ ク  
 ち ろ ろ は た け く き い ほ よ き  
 ガ タ ガ ヒ ナ ケ テ コ ク マ ナ ベ  
 う た が ひ な きて と を ま ら ぶ  
 テ ア ヘ ル コ ト ニ ウ ゴ カ ヌ ヒ ト ラ  
 て あ くる 事 に う ご か ぬ 人 を  
 マ ス ラ ラ ト シ オ モ イ フ ゴ カ シ  
 ち ろ ろ も ほ く い さ よ し を

第十一 友だちをききし

一 ともだちをききたるまじ。われらの友だち。  
 ぞくぞくおどろき。いざやこら。  
 ぶらぶらおどろき。おどろきてまじし。  
 友だちをききたるまじ。ゆきてまじし。  
 ともだちをききたるまじ。ともだちよ。  
 二 ともだちをききたるまじ。いざやこらよ。  
 ともだちをききたるまじ。いざやこらよ。  
 ともだちをききたるまじ。いざやこらよ。  
 ともだちをききたるまじ。いざやこらよ。  
 ともだちをききたるまじ。いざやこらよ。  
 ともだちをききたるまじ。いざやこらよ。  
 ともだちをききたるまじ。いざやこらよ。  
 ともだちをききたるまじ。いざやこらよ。  
 ともだちをききたるまじ。いざやこらよ。  
 ともだちをききたるまじ。いざやこらよ。

トモダチ キタレ ワレラノ トモ トク トク  
 友だちをききたる いざやこらよ いざやこらよ

キタレ イガヤ コラ ヤマニ ノベニ  
 ききたる いざやこら ひとのみちを

アソビテ マシ ウタヲ ウタヒテ エキテ  
 まなびて まし みちを たのむゆきて

マシ ラトコ ラミナモ トモドモ ニ  
 し ひとも われらも こもごも に

第十二 風車 ふうぐるま

一 かがり車くろま。風ふう乃のままんんく。  
 免めんかかるるななののまま。ややままびびええんんぐぐも。  
 ややままびびええんんぐぐも。

二 みづみづるるまま。ああれれままふふく。  
 免めんかかるるななののまま。ややままびびええんんぐぐも。  
 免めんかかるるななののまま。ややままびびええんんぐぐも。

三 学がく問もんも。ははもも免めんかかるるななののままびびええんんぐぐも。  
 免めんかかるるななののまま。ややままびびええんんぐぐも。  
 ややままびびええんんぐぐも。

ノのま かがり 風乃まんく。  
 免かるとのま。あれまふく。  
 免かるとのま。あれまふく。  
 学問も。はも免かるとのまびえんぐも。  
 免かるとのま。あれまふく。  
 やまびえんぐも。

第十三 色めく

一 色めく。是と申すく免。  
 空をまきく。つらふとまれ。  
 とまもるもけい毛。かぬ乃まに。  
 たるもあもるもちし一のまよ。  
 咲はそもの。ちをさやま毛。  
 おのろき。はらまどはれ。  
 色めく。何とくまめ。

二 色めく。勉めてまたまを。

おのろき。たゆまざあしへ。  
 空の居を。たえ路むをへ。  
 流ももかろも。おのまに。  
 よむ文毛。かき文も。  
 おのろき。いままをい。  
 空の居く。はと免て学べ。

1. ス ス メ ス ス メ ア シ ト ク  
 2. ま な 屋 ま な 屋 つ こ め て  
 3. ス ス メ ト マ レ ト マ レ  
 4. ま な 屋 な ら 屋 な ら 屋  
 5. イ チ ド ニ ト マ レ ト マ ル モ  
 6. た ゆ ま ぎ な ら 屋 な ら び の  
 7. ユ ク モ ヲ シ ヘ ノ マ マ ニ  
 8. み ち を た え せ も な ら 屋

9. タ ツ モ イ ル モ ラ シ ヘ ノ  
 10. よ む か り く も な し 屋 の  
 11. マ マ ニ サ ク ハ ナ モ ナ ク ト リ モ  
 12. ま ま に よ む ふ み も り く も じ も  
 13. オ モ シ ロ キ ハ ナ ツ ノ ヤ ス ス メ  
 14. お り し ろ き り ひ ま な び ま な 屋  
 15. ス ス メ ア シ ト ク ス ス メ  
 16. ま な 屋 つ こ め て ま な 屋



第十四 唐代乃民華

一 藝<sup>えい</sup>る乃<sup>の</sup>。ふるは<sup>は</sup>。うま<sup>ま</sup>しな。  
 民<sup>たみ</sup>華<sup>くさ</sup>の。ひ<sup>ひ</sup>び<sup>び</sup>び<sup>び</sup>る<sup>る</sup>こ<sup>こ</sup>ど<sup>ど</sup>を。  
 ち<sup>ち</sup>ー<sup>ー</sup>ち<sup>ち</sup>ま<sup>ま</sup>ま<sup>ま</sup>。あ<sup>あ</sup>み<sup>み</sup>ろ<sup>ろ</sup>ち<sup>ち</sup>や<sup>や</sup>ー<sup>ー</sup>此。  
 り<sup>り</sup>屋<sup>や</sup>ま<sup>ま</sup>ー<sup>ー</sup>に<sup>に</sup>。さ<sup>さ</sup>の<sup>の</sup>あ<sup>あ</sup>ー<sup>ー</sup>て。  
 大<sup>おほ</sup>き<sup>き</sup>の。え<sup>え</sup>ん<sup>ん</sup>が<sup>が</sup>み<sup>み</sup>り<sup>り</sup>も<sup>も</sup>ろ<sup>ろ</sup>く。  
 ー<sup>ー</sup>げ<sup>げ</sup>を<sup>を</sup>は<sup>は</sup>。花<sup>はな</sup>も<sup>も</sup>家<sup>か</sup>も<sup>も</sup>あ<sup>あ</sup>る。  
 唐<sup>たう</sup>代<sup>だい</sup>ぞ<sup>ぞ</sup>ー<sup>ー</sup>し<sup>し</sup>ま<sup>ま</sup>き。

二 志<sup>し</sup>ね<sup>ね</sup>ー<sup>ー</sup>ま<sup>ま</sup>や<sup>や</sup>。を<sup>を</sup>も<sup>も</sup>と<sup>と</sup>し<sup>し</sup>ま<sup>ま</sup>好<sup>好</sup>よ。  
 ち<sup>ち</sup>ー<sup>ー</sup>け<sup>け</sup>い<sup>い</sup>く<sup>く</sup>。ち<sup>ち</sup>ー<sup>ー</sup>け<sup>け</sup>ま<sup>ま</sup>や<sup>や</sup>し。  
 回<sup>わい</sup>ふ<sup>ふ</sup>し<sup>し</sup>ぞ<sup>ぞ</sup>を<sup>を</sup>た<sup>た</sup>う<sup>う</sup>ま<sup>ま</sup>い<sup>い</sup>や<sup>や</sup>ー<sup>ー</sup>た。  
 お<sup>お</sup>ー<sup>ー</sup>ち<sup>ち</sup>ま<sup>ま</sup>へ<sup>へ</sup>て<sup>て</sup>。ま<sup>ま</sup>づ<sup>づ</sup>に<sup>に</sup>あ<sup>あ</sup>ら<sup>ら</sup>わ<sup>わ</sup>る<sup>る</sup>也。  
 ふ<sup>ふ</sup>らん<sup>ん</sup>乃<sup>の</sup>ち<sup>ち</sup>華<sup>くさ</sup>。か<sup>か</sup>る<sup>る</sup>こ<sup>こ</sup>ー<sup>ー</sup>ち<sup>ち</sup>ま<sup>ま</sup>き。  
 志<sup>し</sup>の<sup>の</sup>代<sup>だい</sup>の<sup>の</sup>え<sup>え</sup>ん<sup>ん</sup>が<sup>が</sup>み<sup>み</sup>り<sup>り</sup>も<sup>も</sup>ろ<sup>ろ</sup>く。  
 唐<sup>たう</sup>の<sup>の</sup>わ<sup>わ</sup>い<sup>い</sup>し<sup>し</sup>ま<sup>ま</sup>き。

1. ハルサメ ノ フルハ ウレシナ タミクサ  
 2. しきしま や やまこ しま祢に ひらけゆ

ノ ヒイヅル カドヲ ラシヘナ ス  
 く をし屋の はやしひにしげ 王

フ ミノ ハヤシノ イヤマシ ニ  
 た りき いやしき おしな 屋 て

サ カ エ サ カ エ テ オ ホ キ ミ ノ  
 し づ ろ わ ら や も ふ み の こ ゑ

メ グ ミ ア マ 子 ク シ ゲ リ ツ ツ ハ ナ モ  
 の の る の し こ き き み ぶ よ の め ぐ み に

ミ モ ナ ル ミ ヨ ソ カ シ コ ニ キ  
 も れ ぬ は る の わ の こ ー き

第十五 年立ちうる

一 年たちうる。船ぼりけ。  
 みどりな乃を。見しせば。  
 雲井もるのに。啼たけ乃。  
 おまは都こそ。やゆらき。  
 二 雲さくもきた。海園生に。  
 まづ咲もむ。梅ぐえ乃。  
 花よけくばる。うきひそのめ。  
 乃どけき都ぞ。やゆるる。  
 三 雲の宮か。はきみだま。  
 船に白ゆ。風やまじくら。  
 げよすんぐもの。まはしとやれ。  
 なる乃おまを。あははま。

The musical score is written on four staves in a treble clef with a key signature of one sharp (F#) and a 4/4 time signature. The lyrics are written below the notes in Japanese. The melody is simple and characteristic of early 20th-century Japanese popular music.

トはク	シるモ	夕きカ	チ玉ユ	カクキ	へれカ	ルぼト	アみサ	サそキ	ボのミ	ラふダ	のレ
ミまア	ドツサ	リをヒ	ノキニ	ソそニ	ラむホ	ラるフ	ミうマ	ワめマ	タラザ	セえク	バのラ
クはゲ	一ニ	モまス	ヒにメ	ハさグ	ルをニ	カツノ	ニる一	クぐス	タハラ	ツモラ	のノ
チのコ	一ビコ	ヨロロ	ノキノ	ココガ	エえク	コぞラ	ソ一	キキア	ココラ	ユゆハ	ナまマ

7, 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 1

4/8 77123 | 22234 | 3536 | 655, |

11176 | 55542 | 2432 | 311, ||

7	ハ
6	ハ
5	ハ口
4	ハイ
3	ハト
2	ハ
1	ハハ
7	ハ

音 變 (ハ) 階 調

第十六 まゐ 子なごし

一 まなごし。たゆまごし。

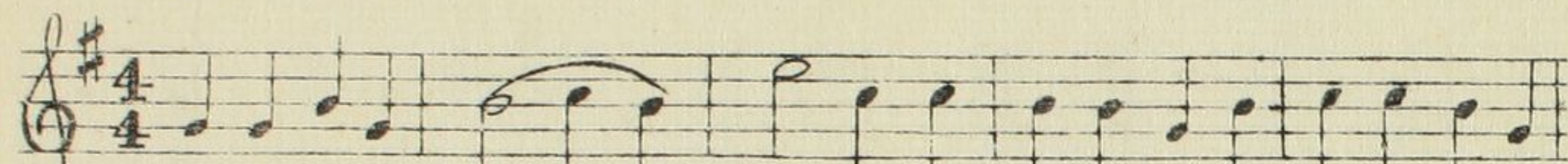
花ほきし。 まゐ 子乃屋を。

二 まゐ 乃尺ちん。やまけの多し。

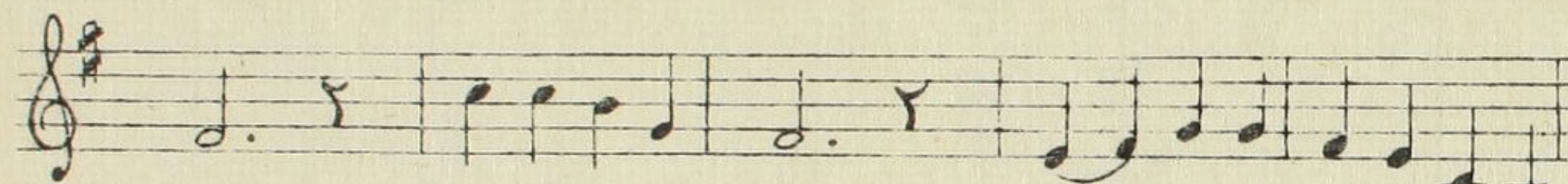
花まきし。かゆまき。さく花白。

三 けを花うばして。たかぬの月を。

やしく尺し。をの木の月を。



イノジト ヤー イトケ ナキトキ マナバズ



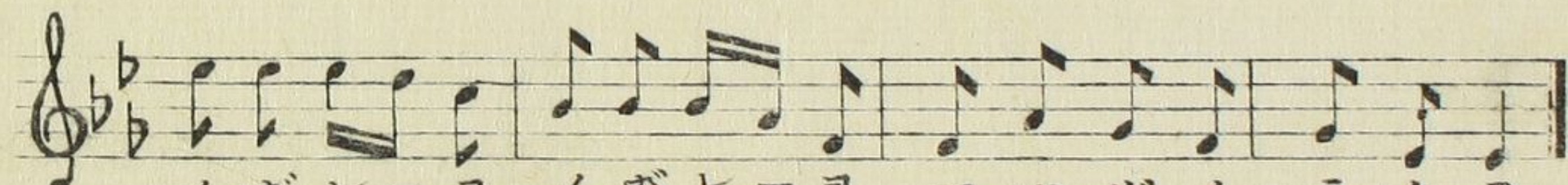
バ マナバズ バ オーロテクユトモ



オヨブマ ジー オヨブマ ジ



イママ ナまき べびー ヨのナ マみカ ナちザ べにシー ヨはテ タやタ ユまカ マま子 ズらノ ウおツ マネキ ズシラ



ノヤト ぶまク レをミー ヨうヨ ノこト ぶゆク レれミー ヨばヨ マまタ ナくカ びはま ノま ミにツ 子ちキ ラふラ

第十七 鞠子

一 りのどとやーいーとけるまとき。  
 まふまふとずむ。あるはすが。  
 おーいそくゆも。まふまふとけしーい。  
 おふがやーい。

二 ろれどとやーい。ろく人をすくも。  
 がきもんを。ごうもんを。  
 はげあひとん。まけいせどーい。  
 まけもあず。

三 はのどとやーい。はーるいそくま。  
 さくのゆも。はくのゆも。  
 みをむえはーずい。なんかせんーい。

たまにこの路ん。

四 りのどとやーい。にーはのをーい。  
 まもくらも。まもくらねば。  
 そだてーい。おーやろ。むぢとるーい。  
 はぢととる。

五 ほろどとやーい。ほろをまをま。  
 ちくのみちを。ちかくみちを。  
 まふつらつと免れ。まふつらりーい。  
 ふたつちを。

六 へのどとやーい。へーるせつとめ。  
 たのしひなを。るらむる。  
 おいなるまふ。まふまふとけしーい。

まきまきー。

七のーとやー。さーはあしとらよ。

ゆいーんはな。ゆいーんはな。

あーもあーもさ。はむるれー。

はむるれー。

八ちれどとやー。ちーまもつれた。

あまもきもろ。あまもくもれ。

たなびくやまもも。なめぬしー。

なめぬぬしー。

九りれどとやー。まかうろごも。

わづらふを。まがらふを。

ひーとにほくらず。へまくだるー。

へりまきだる。

十ぬのじとやー。ぬひけりたるま。

まもとあらの。まもとあら。

よまてぬたたらな。はづーたー。

まづーのーま。

十一るれーとやー。るーるをもも。

ともだたら。とももなちれ。

よーなもあしきも。たうひるまー。

まづーのーま。

十二をろじとやー。まー入まづら。

まらんまらぬ。まらんまらぬ。

まらぬみあーつし。おやれまらぬ。

おや乃ごと。

十三おれどとやー。わづみをつゑんをて。  
ひるゑのしうを。いたからば。  
ひーともかくと。おもひしれー。  
おもひしき。

十四かのじとやー。うーまきちー。  
よのちうのれ。よちちうの。  
たうしにすされる。かからるりー。  
たうしちう。

十五のどとやー。うにすむたー。  
すゑんらゑの。すゑんらゑの。  
とーのめがみを。わするるよー。

わするるよ。

十六たのどとやー。あまみがかー。  
おのまな。ひまをるし。  
ひとまなばー。ねがみちうらすー。  
みちちう。

十七れ乃じとやー。きいぎとかうのう。  
せぬこも。おぬひとえ。  
はーとや。うすふ。おもるるりー。  
おもるる。

十八乃乃じとやー。そーちるひとや。  
とがえんら。とがえんら。  
そしらるみ。かくてんよー。



まへもみよ。

十九つれどもやー。つみるまいたもの。  
ころろすなまをさくろりまらまよ。  
つーひよふもをも。しひいげんー。  
志いたげん。

廿ねのじもやー。ねんよくつちかえ。  
なーるくま。やーなくば。  
えおまの志ばらぬまごもあしー。  
まいもるー。

廿二なのじもやー。なにてあぐだいろ。  
おやろあん。あをれあん。  
むくしよせごー。すももおのー。

すむも乃か。

廿三らろじもやー。らひねんあまどい。  
おもまらげん。おもはげん。  
せもーけうちらにと。まらぶしー。  
まなまぶー。

廿四むのドもやー。むぶられやーどん。  
すむーもくも。はもむらても。  
ちうぢのみーちら。あやるはしー。  
つもえるましー。

廿五うれじもやー。うーみるちひろの。  
おろこよりも。そまらちまも。  
ふーつたもあーやの。いぐだのしー。

とるをぢうあー。

苺ののじとやー。あそまがうんあやよあ。

志とるも。ー。らるも。

うたもむひーとのどくだじー。

とるぢうー。

其のぢとやー。乃べのちぐまは。

さうゆとも。さくまゆふも。

つーゆのめぐみを。あそるたまー。

思するあは。

廿七乃じとやー。おーのうらのまぬ。

すうとあうらだ。こさあは。

ひーやにふぢす。すうとあうまー。

ことちうのま。

廿八のじとやー。こーちのよきもは。

何ーきも乃。あししたもめ。

わぢらひたさ。と。たをつけとー。

まをうやよ。

廿九やれどとやー。をなまきいよげにも。

をれを勢す。をきこをせと。

たををうるもはらに。はとくー。

はしし乃や。

三十まはじとやー。すあとのみーちん。

こーなうむなは。あそひなを。

いのらすとー。あそんやも。

うのみまきもある。

主けはドとやー。けーもひ免でう記。  
をと免さるも。をと免こも。

ホーくらひが免び。免にくしやー。  
みまきしる。

主ふ乃じとやー。ゆる記をたづねて。  
何ゆるしき。あをうしき。

ことをもちくる。みまきするびー。  
免さるまを。

主このドとやー。ホーくらうたきを。  
ホーくらふまきた。こころふれば。  
こーくらまきた。ホーくらまきたー。

こまきはる。

主けのドとやー。えーげもちしるも。  
おまきなるも。おまきなるも。

免さるまも。免さるまも。免さるまも。  
免さるまも。

主てはじとやー。てを何げあしを。  
こまごのまも。こまごのまも。

わーはるま。わーはるま。わーはるま。  
たを免みん。

主あはドとやー。何ーまひひつぎの。  
たのんをくら。あかみくら。  
あまげ。あまげ。あまげ。

い屋たのー。

まきのドとやー。さーいをたのみて。  
おーをさうらむ。おさしたうば。  
さるちたひーとん。おどるべしー。  
ねらるる屋し。

まきのドとやー。きーんとおやとれ。  
みんかさんり。みめぐみふ。  
ついでて何れき。しれ免ぐみー。  
志の免ぐも。

免ゆれドとやー。ゆみ屋いさくらに。  
をさすまらて。をさすまらて。  
みーよをたのしむ。むらつらんー。

はらうはぐみ。

早めはじとやー。免かみをうけてい。  
むらふべし。むらふ屋し。  
あーだときらみ。なちちやまきー。  
うらわすま。

里み乃じとやー。みーやといまりの。  
ーやべはるく。しをべ川たぐ。  
まのまむ乃みちい。さうのくゆー。  
さうかえゆ。

里ーはじとやー。さうらぬをとーふて。  
はらうらうら。まらちあうら。  
とーふをはぐる。はられもとー。

ちじのものど。

聖三乃じとやー。えーつてくるへる。  
さやのみまきむ。けいも人れた。  
ちーけいぢぢぢ。みづぞかしー。  
んげぞやー。

聖ひのどとやー。えーとのいとも。  
わづいとも。こいづのいとも。  
あやまちなまか。かくまよー。  
いへん。

聖もれじとやー。えんじをまうる。  
たのーさな。もれしけは。  
とーほぢむのけ。ちともーるー。

ナンやいもーる。

聖六せのどとやー。ぢぢのひらまた。  
あゝもんも。ぢぢにんも。  
わづみをいも。ま。とんぢぢぢー。  
かこころな。

聖七すれどとやー。えーちほをうぎる。  
をささまも。をけちるがは。  
えーえやいのよも。ぢぢのけしー。  
あはかし。

明治二十年十月廿五日版權免許  
明治廿一年一月十日刻成

定價金七錢五厘

校閱并  
撰曲者

愛知縣士族

恒川 鏢之助

名古屋區比米町五番地



編輯者

愛知縣士族

佐藤 維親

名古屋區百人町十八番戶



出版者

愛知縣平民

片野 東四郎

名古屋區玉屋町三丁目三番地



新古書籍  
ブックブライザー  
源喜堂書店  
神田小川町3/1  
電(291) 5082  
5083

1200

### 東壁堂藏書鈔録

愛知縣尋常師範學校教諭 恒川鏢之助著述

音樂入門 全三冊 定價金四十五錢

此書ハ唱歌ヲ教授スルニ最モ便益ナルヲ旨トシ音樂ノ理論ヲ説クモノニミテ別ツテ上下二卷トシ上卷ニハ唱歌ヲ授クル者ノ最モ心得ヘキ氣息養法及ヒ音ノ發生ヲ論述シ次ニ樂譜論ニテハ音階ヲ初トシ順次附点ノ事ニ説キ及ヒシ下卷ニハ八歳以下ノ兒童ニシテ樂譜ヲ容易ニ解シ得サルモノヲ教授スルニ樂譜ニ據ラズシテ數字ヲ用ヒ簡單ニ音階音ノ長短及ヒ移調法等ヲ平易ニ説キタルモノニシテ近來出版書籍夥多ナルモ未タ音樂ノ事ヲ記シタルモノ甚タ少シ此道ニ志アル人ハ讀シテ大ニ發明スル處アルベキノ珍書

普通唱歌集 全一冊 定價金七錢五厘

箏曲大意抄 全五冊 定價金一圓五十錢

洋曲 撫箏雅譜集 全三冊 定價金二十五錢

明治二十年十月廿五日版權免許  
明治廿一年一月十日刻成

定價金七錢五厘

校閱并  
撰曲者

愛知縣士族  
恒川 鏖之助  
名古屋區比米町五番地

編輯者

愛知縣士族  
佐藤 維親  
名古屋區百人町十八番戶

出版者

愛知縣平民  
片野 東四郎  
名古屋區玉屋町三丁目二番地

1200

### 東壁堂藏書鈔錄

愛知縣尋常師範學校教諭 恒川鏖之助著述

### 音樂入門

全三冊 定價金四十五錢

此書ハ唱歌ヲ教授スルニ最モ便益ナルヲ旨トシ音樂ノ理論ヲ説クモノニミテ別ツテ上下二卷トシ上卷ニハ唱歌ヲ授クル者ノ最モ心得ヘキ氣息養法及ヒ音ノ發生ヲ論述シ次ニ樂譜論ニテハ音階ヲ初トシ順次附点ノ事ニ説キ及於シ下卷ニハ八歳以下ノ兒童ニシテ樂譜ヲ容易ニ解シ得サルモノヲ教授スルニ樂譜ニ據ラズシテ數字ヲ用ヒ簡單ニ音階音ノ長短及ヒ移調法等ヲ平易ニ説キタルモノニシテ近來出版書籍夥多ナルモ未タ音樂ノ事ヲ記シタルモノ甚タ少シ此道ニ志アル人ハ讀シテ大ニ發明スル處アルベキノ珍書

### 普通唱歌集

全一冊 定價金七錢五厘

### 箏曲大意抄

全五冊 定價金一圓五十錢

### 洋曲撫箏雅譜集

全三冊 定價金二十五錢